

様式第1号(第2条関係)

市川市市民活動団体支援金交付申請書

平成27年 1月26日

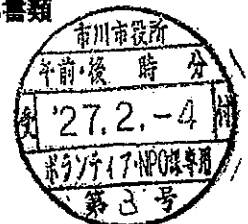
市川市長 大久保 博 殿

団体名 特定非営利活動法人  
ニッポンアクティブライフクラブ  
市川拠点「ナルク市川」  
代表者名 桑原 肇男  
所在地 市川市市川南 1-2-18  
電 話 047(326)5548

市川市市民活動団体支援金の交付を受けたいので、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第5条の規定により、関係書類を添えて下記の通り申請します。

記

1. 事業の名称 地域福祉の担い手育成事業
2. 事業の概要 NPO法人などの活動が地域の福祉推進のために重要になっている。この活動に積極的に参加する人材を発掘・育成することはNPO団体にとって大きな課題であり、本事業はその一翼を担うものである。  
昨年の新入会員は22名で事業の効果は上がっている。
3. 事業費総額 400,000 円
4. 交付申請額 200,000 円
5. 添付書類  
(1)団体概要調査(様式第2号)  
(2)規約・会則・定款等の写し  
(3)市川市市民活動団体支援金申請事業計画書(様式第3号)  
(4)市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書(様式第4号)  
(5)団体の事業報告書及び収支決算書の写し(直近のもの)等の市長が必要と認める書類



様式第2号 (第2条関係)

団体概要調査

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 ニッポンアクティブライフクラブ市川拠点「ナルク市川」</p>								
<p>市内事務所の所在地</p>	<p>〒272-0033 市川市市川南1-2-18 【専用事務所 <u>・住居と兼用</u> ・その他】</p>								
<p>主たる事務所の所在地</p>	<p>市川市市川南1-2-18</p>								
<p>代表者氏名 及び 役員氏名</p>	<p>【代表者氏名】 桑原 馨男</p> <p>【役員氏名】 記載しきれない場合は、別紙添付可</p> <table border="1" data-bbox="523 860 1369 1122"> <thead> <tr> <th data-bbox="523 860 691 898">役職</th> <th data-bbox="697 860 946 898">氏名</th> <th data-bbox="952 860 1369 898">住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="523 907 1369 1122" style="background-color: black;">[Redacted]</td> </tr> </tbody> </table>			役職	氏名	住所	[Redacted]		
役職	氏名	住所							
[Redacted]									
<p>連絡責任者</p>	[Redacted]								
<p>主な活動地域</p>	<p>* 該当する口にチェックを入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 国府台</li> <li><input type="checkbox"/> 国分</li> <li><input type="checkbox"/> 曾谷</li> <li><input type="checkbox"/> 大柏</li> <li><input type="checkbox"/> 宮久保、下貝塚</li> <li><input type="checkbox"/> 市川第1</li> <li><input type="checkbox"/> 市川第2</li> <li><input type="checkbox"/> 真間</li> <li><input type="checkbox"/> 菅野・須和田</li> <li><input type="checkbox"/> 八幡</li> <li><input type="checkbox"/> 市川東部</li> <li><input type="checkbox"/> 信篤・二俣</li> <li><input type="checkbox"/> 行徳</li> <li><input type="checkbox"/> 南行徳</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 市内全域</li> </ul>								

活動の分野	別紙の分野 番号を記載	主分野 (1つ)	1	その他 分野	6,8,9,13
設立年月日	平成16年5月		会員数	241名(26年12月現在)	
ホームページ			E-mail	narukuitikawa@gmail.com	
会報等の発行	<input checked="" type="checkbox"/> (月1回発行)		無		
団体の 活動目的	<p>&lt;自立&gt;&lt;奉仕&gt;&lt;助け合い&gt;を基本理念に家事援助・介護・介助・子育て支援などボランティア活動を推進・中高年齢者の社会参加を促進。会員同志の助け合いの輪を地域に広げ、ネットワークづくりに貢献。</p> <p>地域に必要とされるコミュニティの核として活動する。</p> <p>(注)団体の定款や規約の活動目的に「不特定かつ多数のものの利益の推進に寄与する(=社会貢献活動)」ことが定められていますか ( <input checked="" type="radio"/> はい ・ いいえ )</p>				
主な事業内容	<p>① 時間預託ボランティアで1時間1点を預託し、必要になった時に自分や家族が支援サービスを受ける。&lt;助け合い&gt;</p> <p>② 高齢者の家事援助や介助、子育て支援など地域での活動</p> <p>③ 自立のための健康づくりなど会員同士の活動と地域の連携</p>				
これまでの 活動実績	<p>平成16年5月に27世帯41名で市川拠点を設立。平成26年12月現在172世帯248名と順調に発展。</p> <p>各種事業で活動の輪を広げ、地域包括支援センターとの連携による高齢者支援にも参加している。</p> <p>市川市ボランティア協会の会員組織として地域の福祉に貢献している。</p>				
団体の特徴・ PRしたいこと など	<p>元気な時に助け合いボランティアに参加し、1時間1点で預託して自分や家族に支援が必要になった時に点数を使って支援サービスを受ける仕組みです。</p> <p>高齢者への家事援助・病院への送迎・傾聴・子育て支援などを行っている。</p>				
市からの 他の補助金等	<input type="checkbox"/> 有 (名称 ) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無				

2 活動計画書

(27年 4月 1日から28年 3月31日まで)

事業の実施に関する事項

(1) 社会貢献活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定日時	実施予定場所	従事者の 予定人数 (延べ)	受益対象者 の範囲及び 予定人数 (延べ)	事業費の 予算額 (千円)
介護・認知症・家事援助 の支援サポーター養成講座		年3回	男女共同参画 センターなど	30	100	200
ボランティア人材育成	ボランティア 実践講座	年6回	市川公民館など	30	300	200
〃	生きいき生活講 座	年6回	市川公民館	30	250	360
	名画上映自立支援	年11回	男女共同参画センター	40	300	50
〃	ふれ愛サロン 同好会	年400回	ナルク事務所など	400	4,000	750
小 計				530(a)	4,950(b)	1,560(c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定日時	実施予定場所	従事者の 予定人数 (延べ)	受益対象者 の範囲及び 予定人数 (延べ)	事業費の 予算額 (千円)
助け合い	高齢者支援	年100回	居宅	40	100	10
運営委員会	独自活動	年12回	ナルク事務所	24	400	40
四役会	独自活動	年6回	ナルク事務所	12	50	10
対外活動	独自活動	随時	勤労福祉センター	60	150	30
小 計				136(d)	700(e)	90(f)

合 計	(a)+(d)=(g) 666	(b)+(e)=(h) 5,650	(c)+(f)=(i) 1,650
-----	--------------------	----------------------	----------------------

全活動に占める社会貢献活動の割合	(a)/(g)	(b)/(h)	(c)/(i)
* 小数点以下は4捨5入してください	80%	86%	95%



様式第3号 (第2条関係)

市川市市民活動団体支援金申請事業計画書

事業の名称	地域福祉の担い手育成事業	
目的及び効果	ナルク市川は年間計画でイベント・公開講座などを企画しており、昨年の参加者は延べ1,000名を超え、会に新入会したのは22名の実績 今年度は毎月テーマを決めて定例の公開講座を行うことに加えて、介護・認知症・家事援助の支援サポーター講座(公開)を企画実施する。	
事業内容	主な対象者	中高年齢者(特に団塊世代) 子育て親子
	実施期間	平成27年4月～平成28年3月まで 定例の公開講座は毎月第2月曜日、支援サポーター養成講座は7月、10月、2月に予定。
	実施場所	市川公民館、男女共同参画センターなど
	内 容	・ 地域包括ケア体制の確立をめざす。介護支援・生活総合支援事業(厚生労働省方針)の担い手を育成することをめざして人材の育成をはかり、活動に参加してもらう。
事業スケジュール	時期(月)	内容
	2	企画会議
	3	実行委員会
	4	4月から事業開始。平成28年3月まで毎月実施。

## 別紙

## 事業スケジュール

27年2月	企画会議 介護支援サポーター講座
3月	実行委員会
4月	楽しい春の園芸講座
5月	老後生活を考える 「尊厳死を知る。高齢期の資産管理と相続対策」
6月	健康に夏を乗り切るセミナー「夏バテ防止・熱中症予防」
7月	サマーコンサート 認知症支援サポーター養成講座
8月	高齢期の暮らし方を考える
9月	楽しい秋の園芸講座
10月	成年後見制度の仕組みと現状 シニア生活支援サポーター講座
11月	地域包括 24 時間ケア体制について
12月	感染症予防講座
28年1月	新春初笑い「川柳つくし落語会」
2月	ニューイヤーコンサート
3月	コーディネーター研修

<p>広報計画・方法</p>	<p>*広く市民の参加を呼びかけるための、具体的な広報計画等を記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> インターネットを活用し情報発信を行う  <input checked="" type="checkbox"/> フリーペーパーの掲載を行う  <input checked="" type="checkbox"/> 広報いちかわ（市民の広場）に掲載する  <input checked="" type="checkbox"/> その他  （会報・チラシなど）</p>						
<p>新規事業・継続の別</p>	<p>*申請した事業についてあてはまるものをチェックしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> ①今回、団体として新たな取り組みの事業であり、1%支援制度には、初めでの申請である  <input checked="" type="checkbox"/> ②以前、同様な事業内容で1%支援制度に申請したことがある</p> <p>②に該当した場合、記入してください</p> <table border="1" data-bbox="515 770 1370 882"> <thead> <tr> <th>今回の交付申請額 (a)</th> <th>前回の届け出総額 (b)</th> <th>差額 (a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200,000円</td> <td>133,762円</td> <td>66,238円</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;改善点・変更点&gt;  前回の申請事業からの改善点や変更点等を記入してください。</p> <p>前回の事業は自己資金を充当して実施した。  この2年間届け出の人数は常に前年を上回っているが  総額は下降傾向にあるので、今回は会員の家族など若い人に呼びかけて目標を達成したい。</p>	今回の交付申請額 (a)	前回の届け出総額 (b)	差額 (a)-(b)	200,000円	133,762円	66,238円
今回の交付申請額 (a)	前回の届け出総額 (b)	差額 (a)-(b)					
200,000円	133,762円	66,238円					



<様式第4号>

市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書

事業の名称： 地域福祉の担い手育成事業

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
一般会計から繰り入れ	200,000	団体の本会計から繰り入れ
支援金	200,000	市川市市民活動団体支援金
合 計	400,000	

2. 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費	210,000	講師謝礼(交通費含む) $10,000 \times 12$ $30,000 \times 3$
交通費	60,000	実行委員会交通費など
消耗品費	30,000	紙代、インク代など
印刷製本費	100,000	チラシ、会報など広報物印刷代(毎月発刊)
合 計	400,000	

2. その他

交付金額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

( はい    いいえ )

備考 支援金の交付対象となる事業に関する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に支援決定事業収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

## ナルク市川 運営規則

### (名称および事務所)

- 第1条 この会はニッポン・アクティブライフ・クラブ市川拠点「ナルク市川」と称す。  
愛称は「ふれ愛ローズ」とする。
- (2) この会の事務所は下記におく。  
所在地 千葉県市川市市川南1丁目2番地18号(桑原馨男方)

### (組織)

- 第2条 この会は「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」の活動拠点である。
- (2) この会は「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」の会員で、千葉県市川市および周辺地域に居住する会員をもって組織する。
- (3) 会員にはこの会で活動することを希望し、本部理事会、居住地域活動拠点の了承を得られた会員をふくむ。
- (4) この会の連絡組織としてブロックを置くことが出来る。ブロックの設置単位は運営委員会で決定する。

### (目的と活動)

- 第3条 この会は「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」定款第4条の目的にもとづき同定款第5条の事業を推進するため地域で活動する。

### (役員)

- 第4条 この会は次の役員をおき、任期は次のとおりとする。
- |       |     |  |
|-------|-----|--|
| 代表    | 1名  | この会を代表し、この会の運営上の責任者で業務を統括。                 |
| 副代表   | 若干名 | 代表を補佐し、代表事故あるときはその職務を代行。                   |
| 事務局長  | 1名  | 事務局業務を統括する。                                |
| 事務局次長 | 若干名 | 事務局を補佐し、局長に事故ある時はその職務を代行。                  |
| 運営委員  | 若干名 | 日常業務を分掌する。                                 |
| 会計責任者 | 1名  | この会の会計業務を統括する。                             |
| 会計    | 2名  | この会の会計を処理する。                               |
| 会計監査  | 2名  | この会の財政上の帳簿記録を年1回以上監査し、本部理事会およびこの会の総会に報告する。 |
- (2) 役員の出選および任期は、次のとおりとする。
- ①役員は、総会において会員の中から選任する。
  - ②役員の任期は2年とする。但し再任を妨げない。
  - ③補充役員の任期は、前任者の残存期間とする。

### (顧問)

- 第5条 この会に顧問を置くことができる。
- (2) 顧問は、総会に諮り代表が委嘱する。

## 第1号議案

### 2013年度（平成25年度）事業活動報告

2013年度のナルク市川の活動は、10周年の節目に向けた年にふさわしい充実したものになりました。300名を目標にした取り組みは目標には及ばなかったものの、39名の新加入があり、173家族・250名となり、一定の成果を上げることができました。

「24時間包括ケア体制」への取り組みは、市川市（男女共同参画センター）との共催で3か月連続の「シニア生活介護支援サポーター研修」を実施し、延べ79名が受講し、全講座を受講してサポーターに認定された11名の今後の活躍が期待されます。

本部の20周年の記念行事への参加に向けて「東日本大震災復興支援ナルク市川みちのくツアー」を企画し、33名の参加。

ナルク市川の10周年行事は、四役会議・実行委員会を中心に準備を進め、植樹について市と国土緑化機構の協力もあって、3月14日に桜の名所里見公園にヤマザクラを寄贈、植樹しました。

こうした取り組みを通じて活動会員が増加していることはうれしいニュースです。

#### I. 会員と組織運営について

##### 1) 会員

会員数300名までには達成できませんでしたが、39名の新入会員があり、10年間で最大の年間加入数でした。

##### 2) 運営委員会

12回263名。毎月第1金曜日に定例開催しました。

##### 3) 四役会議

8回開催し、51名参加し、10周年の企画や臨機の対応を話し合い、成果を上げました。

##### 4) 各種委員会

###### ① 企画・事業委員会

「例会」をはじめとするナルクの諸行事の企画実行について、中心的な役割を果たしました。名画上映会、ウォーク会などを企画しました。

###### ② 広報委員会

会報の毎月発行を実施しました。レイアウトを一新し読みやすい紙面になりました。寄稿も増えてきました。

### ③総務委員会

時間預託・奉仕時間報告書をパソコン管理を生かしたシステムで実施しました。

### ④管理委員会

安定した財政基盤の確立と適切な管理に努めました。

### ⑤コーディネート委員会

会員からの〈助け合い〉の要請に対応できるよう定例で開催しました。

### 5) 地域ブロック・班の活動

例会、てるぼサロンの運営をブロック担当で行うほか、班やブロックでの交流と懇親会を実施しましたが、まだ十分に機能しているとはいえない状況です。

### 6) 例会の運営について

年間計画に基づいて臨時の企画も含め対応しました。運営はブロックごとの担当とし公開講座として一般市民に参加を呼びかけて新しいPRパンフレットを活用して会員拡大に努めました。

### 7) 研修について

①次世代リーダー育成のためナルク東京の研修に運営委員を派遣しました。

②新入会員を中心に、ナルクについて理解を深め活動に参加していただく動機づけの懇親会を3回開催し、27名参加しました。

③拠点役員、ブロック役員を中心にナルク関東の活動に参加しました。

## II. 自立奉仕助け合いの活動

### 1. 助け合い（時間預託）の活動

〈顔の見える、声が聞こえる〉助け合いをめざし、〈声かけ運動〉で人間関係づくりをして気軽に時間預託を使えるような雰囲気づくりに努めました。

[1] 助け合い（時間預託）の活動 100人に対して220回（214）

217名（212） 396時間（361）

〈顔の見える助け合いを大切に〉を合言葉に助け合い活動を実施しました。

1) 送迎支援 延べ2回で2名 2時間（1回・18名・26時間）

2) 家事援助 延べ205回で181名 321時間（169回・152名・230時間）

- 3) 草刈・剪定 延べ2回で9名 31時間 (6回・9名・31時間)
- 4) 話し相手 延べ10回で20名 40時間(4回・20名・58時間)
- 5) 水遣り 延べ1回で1名 4時間 (11回・4名・14時間)

## 2. 自立の活動

社会参加することがシニアのアンチエイジング(老化防止)には重要だといわれています。会員の参加の機会を増やす取り組みをすすめました。

### 1) 生きいき生活講座を実施しました。6回 196名

- ① 4月8日(月) 「世間師」 19名
- ② 7月8日(月) 「女流落語家川柳つくし」 31名
- ③ 7月11日(金) 「サマーコンサート」 42名
- ④ 10月12日(金) 「高齢期の資産管理と相続対策」 28名
- ⑤ 1月7日(月) 「女流落語家川柳つくし」 14名
- ⑥ 1月17日(金) 「ニューイヤー・コンサート ヴァイオリン・チェロ・ピアノの集い」 51名
- ⑦ 3月10日(月) 「高齢期の暮らし方を考える」 25名

### 2) ボランティア実践講座を実施しました。 6回 206名。

- ①5月14日(月)「エンディングノートの書き方」 33名
- ②5月31日(金)総会記念講演「復興支援を！双葉されど我が故郷」  
80名
- ③8月12日(月)「夏バテを防ぐ食事と熱中症予防」 27名
- ④9月13日(月)「高齢期の資産管理と相続対策」 28名
- ⑤12月9日(月)「防災・減災について考えよう」 28名
- ⑥2月10日(月) 「長寿社会のまちづくり」 10名

### 3) 市川市(男女共同参画センター)と共催で「シニア生活介護支援サポーター研修」を行い、延べ79名の参加、11名がサポーターとして認定されました。

生きいき生活講座パート2(ナルク名画劇場)を実施しました。

12回 381名

- ① 4月19日(金) 「ジョニーは戦場へ行った」 16名
- ② 5月17日(金) 「戦場にかける橋」 20名
- ③ 6月14日(金) 「地上より永遠に」 51名
- ④ 7月22日(金) 「地上最大のショー」 36名

- ⑤ 8月23日(金) 「ジャンヌ・ダーク」 44名
- ⑥ 9月20日(金) 「クオ・ヴァティス」 36名
- ⑦ 10月18日(金) 「ベン・ハー」 44名
- ⑧ 11月15日(金) 「ベン・ハー第2部」 23名
- ⑨ 12月13日(金) 「誰れがために鐘は鳴る」 22名
- ⑩ 1月24日(金) 「怒りの葡萄」 23名
- ⑪ 2月14日(金) 「素晴らしき哉人生」 10名
- ⑫ 3月14日(金) 「チャップリン・天国二人道中」 17名

#### 4) 同好会活動

- 同好会活動は①から⑨の合計で延べ426回 4,818名
- ①ナルクうたごえ ふれ愛ローズ 毎月第3月曜日 14:00-16:00  
市川公民館 合計12回…延べ1,022名  
行徳うたごえ広場 第4木曜日 14:00-16:00 6回 221名  
うたごえ選曲会議 合計12回…延べ56名
  - ②ナルク太極拳 第1、第2月曜日 13:30~  
第3月曜日 9:30~市川公民館  
合計33回…延べ396名
  - ③ナルク健康マージョ 毎月曜、水曜、木曜(初級)、金曜  
ナルク事務所 合計255回…1738名
  - ④ナルクカラオケ 第1、第3火曜日 13:30、15:30ナルク事務所  
合計24回…延べ252名
  - ⑤民謡・三味線 第1、第3水曜日 13:00-16:00 ナルク事務所  
合計23回…319名  
行徳会場 8回…90名
  - ⑥リズム体操 第1、第2、第3火曜日 10:00-12:00  
宮田ふれあい館 合計36回…667名  
信篤公民館 合計36回…826名  
行徳会場 9回…123名
  - ⑦古典から学ぶ女性の生き方 第3土曜日 10:30-12:00  
市川公民館 9回…88名
  - ⑧絵手紙 第2土曜日 10:00-12:00 市川公民館  
合計11回…118名
  - ⑨盆ダンス 第2火曜日 13:00-14:30 宮田ふれあい館  
11回…延べ93名
  - ⑩手づくり 第2、第4土曜日 10:00-12:00 ナルク事務所

- 5) 東日本大震災復興支援」の活動としてボラ協映画会の文化会館にてバザーを実施しました。

### 3. 奉仕の活動

地域への貢献を目指した活動を行いました。

- ①健康ウォーク 9回で 151名  
②ナルクふれ愛サロン“てるぼ” (ブロック別の輪番制)12回 162名  
社協と連携して毎月第3木曜日に拠点事務所でサロンを定期的開催しました。

- ① 4月18日(木)「ミニゲートボール」 27名
- ② 5月16日(木)「寂聴さんのCDを聞く」 12名
- ③ 6月20日(木)「健康クイズ」 7名
- ④ 7月18(木)「ミニ卓球・カラオケリズム」 10名
- ⑤ 8月15(木)「宮澤賢治の話」 18名
- ⑥ 9月19日(木)「寂聴さんの話」 16名
- ⑦ 10月11日(金)「肉まんとケーキづくり」 11名
- ⑧ 11月21日(木)「ストレッチと健康の話」 11名
- ⑨ 12月19日(木)「折り紙・クリスマス」 19名
- ⑩ 1月16日(木)「寂聴さんの話」 6名
- ⑪ 2月20日(木)「フルーツ演奏とカラオケ」 8名
- ⑫ 3月20日(木)「ミニ卓球」 8名

#### ③エコ活動

4年前から行っている大淵小と連携しての「エコキャップ収集活動は」3月から宮田小に引き継いで実施しました。

#### ④高齢者(障害者)支援

独り暮らし高齢者を「声掛け運動」で支援しました。地域包括支援センターなどとの連携で地域の助け合いのネットワークを広げていきます。

### Ⅲ. ナルク設立20周年とナルク市川10周年事業への参加

- ① 仙台で行われる総会、イベントなどに多くの会員とともに参加

できるよう準備を進め、「復興支援バスツアー」を企画し33名余りが参加予定です。

- ② ナルク市川10周年事業は実行委員会を設置し、すでに市川市・国土緑化機構の協力で桜の名所「里見公園」にヤマザクラを寄贈・植樹しました。2-3年後には花をつけるとのことで楽しみです。

#### IV. 行政、社協、ボランティア協会等との連携

地域での助け合いの輪を拡げることをめざして、行政・社協・ボランティア協会などとの関係を深化させました。特に行徳地区での活動を重点的に行いましたが、まだ十分な成果には結びついていません。

- ① 市民税1%支援制度の取り組みを強化し、市のボランティア・NPO課との連携を図りました。
- ② てるぼサロン、チャリティー映画会、ボランティアフェスティバル、研修旅行などの諸行事で役割を果たしました

#### V. ナルク諸組織との連携について

- ① ナルク本部、関東地区の会議や研修会に参加しました。
- ② ナルク千葉県協議会の諸会議に参加し連携を深めました。
- ③ ナルク千葉福祉調査センターの活動に参加してきました。今年は福祉センターから活動協力金58,100円が戻し入れされました。



## 2013年度(平成25年度)収支決算書

2013年4月1日~2014年3月31日

単位 円

科 目	2013年度予算	2013年度実績	科 目	2013年度予算	2013年度実績
1) 収入の部			2) 支出の部		
拠点交付金	235,500	234,000	注1) 内部支出	15,000	15,000
時帰預託活動 寄付金	1,000,000	1,046,500	旅費交通費	60,000	51,360
受取寄付金	1,600,000	1,781,302	通信運搬費	200,000	133,391
○ 受取助成金	200,000	178,956	消耗品費	400,000	224,588
受取利息	1,000	995	会議費	1,800,000	1,764,928
内部収入		66,500	ボランティア 保険料	29,000	29,000
			注2) 租税課金	15,000	100
			注3) 支払手数料	2,500	2,260
			水道光熱費	80,000	85,065
○			修繕費	100,000	120,000
			予備費	335,000	
収入合計	3,036,500	3,308,253	支出合計	3,036,500	2,425,692
			差引収支		882,561
			前期繰越金	2,578,258	2,578,258
			運営引当金 繰入		300,000
			次期繰越金	2,578,258	3,160,819

注1) 本部へ支払費用 会計ソフト使用料

注2) 消費税 注3) 預金残高証明書

## 団体要件・事業要件確認シート

### ◆確認事項

	以下の項目について、該当する口にチェックを入れてください。
団体要件	<input checked="" type="checkbox"/> 市内に事務所を有し、主として市内において活動している <input checked="" type="checkbox"/> 規約、会則、定款等を有している <input checked="" type="checkbox"/> 申請の提出時において、1事業年度以上継続的な活動の実績がある法令、条例等に違反する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 公序良俗に反する活動をしていない <input checked="" type="checkbox"/> 福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他の社会貢献に係る分野の活動(不特定かつ多数のもの)の利益の増進に寄与することを目的とするものを行うことを主たる目的とし、営利を目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを主たる目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職(公職選挙法第3条に規定する公職)の候補者もしくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的としていない <input checked="" type="checkbox"/> 団体または構成員が暴力団等に該当していない <input checked="" type="checkbox"/> その他、市民活動団体としてふさわしくない行動を行っていない
事業要件	以下の項目について、該当する口にチェックを入れてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 原則として市内において活動するもの <input checked="" type="checkbox"/> 福祉、環境、文化、スポーツ、青少年育成その他社会貢献に係るもの <input checked="" type="checkbox"/> 営利を目的としない <input checked="" type="checkbox"/> 市民を主たる対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 当該市民団体の構成員のみを対象とする事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> 宗教の教義を広め、儀式行事を行い、及び信者を教化育成することを目的とする事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> 政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを目的とする事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> 特定の公職の候補者もしくは公職にある者又は政党を推薦し、支持し、又はこれらに反対することを目的とする事業ではない <input checked="" type="checkbox"/> 支援金の交付予定の年度に、申請事業について、市川市から補助金又は委託等を受けていない

当団体や申請事業は、団体要件・事業要件に該当するとともに、申請書等の記載事項は上記のとおり事実と相違ありません。また、暴力団等に該当の有無について、市川市が市川警察署に紹介することに同意します。

団体名 特定非営利活動法人ニッポンアクティブライフクラブ市川拠点「ナルク市川」

代表者 桑原 義男

